

厚生労働科学研究費補助金
健康安全・危機管理対策総合研究事業

中規模建築物における衛生管理の実態と
特定建築物の適用に関する研究

令和元年度

研究成果の刊行に関する一覧

(1)論文発表

- 1) Azuma K. Guidelines and Regulations for Indoor Environmental Quality, Indoor Environmental Quality and Health Risk toward Healthier Environment for All. Springer, Singapore, pp.303-318, 2019
- 2) Azuma K, Jinno H, Tanaka-Kagawa T, Sakai S. Risk assessment concepts and approaches for indoor air chemicals in Japan. International Journal of Hygiene and Environmental Health 225, 113470, <https://doi.org/10.1016/j.ijheh.2020.113470>, 2020.
- 3) 鍵直樹、柳 宇、真菌の成長による揮発性有機化合物の発生挙動と加湿器からの発生調査、日本建築学会環境系論文集、第 84 巻 765 号、 pp.1003-1010、2019.11.
- 4) 林基哉、金勲、開原典子、小林健一、鍵直樹、柳宇、東賢一：特定建築物における空気環境不適率上昇の実態と二酸化炭素濃度に関する要因分析、日本建築学会環境系論文集、第 84 巻、第 765 号、 pp. 1011-1018、 2019.11.
- 5) 柳 宇、岡部優志、吾孫子正和、クールチューブにおける微生物汚染の実態とその対策、空気調和・衛生工学会論文集、No.270、 pp.9-15、2019.09
Vol. 25、 Issue 4、 pp、 373-386、 2019.4.
- 6) 林 基哉、金 勲、開原 典子、小林 健一、鍵 直樹、柳 宇、東 賢一、特定建築物における空気環境不適率に関する分析、日本建築学会環境系論文集、Vol.84 No.765, 2019.11 ; pp.1011-1018.
- 7) 林基哉、本間義規、巖爽、菊田弘輝、羽山広文、加用現空、鈴木信恵、開原典子、金勲、阪東美智子、小林健一、大澤元毅. 寒冷地の高齢者施設における室内生活環境の年間特性—フィンランド・エスポー及び北海道・札幌における室内温熱空気環境の実態. 日本建築学会環境系論文集 84(761), 2019.7 ; pp.699-708.
- 8) 鍵直樹、並木則和：建築物の空調機及びエアフィルタの超微粒子捕集特性、日本建築学会環境系論文集、Vol. 84, No. 755, 2019.1

(2)著書・総説

- 1) 金勲. 建築物衛生法制定 50 周年に当たって—特定建築物における二酸化濃度環境の実態、空気清浄、第 57 巻第 5 号、日本空気清浄協会、2020.1 , pp.38-43.
- 2) 林基や、金勲 他. 建築物衛生法制定 50 周年に当たって—特定建築物における空気環境不適率の実態、空気清浄、第 57 巻第 5 号、日本空気清浄協会、2020.1 , pp.14-23.
- 3) 金勲 (共著). 安全工学便覧 (第 4 版) —III.社会安全 2.5.1 [6] 室内環境汚染 —, 安全工学会 (編), 2019.07 , pp.883-90.
- 4) 柳宇、他共著、最新の抗菌・防臭・空気制御技術、テクノシステム、ISBN : 978-4-924728-84-4、2019.07
- 5) 柳宇、他共著、空気環境測定実施者講習会テキスト、公益財団法人日本建築衛生管理教育センター、ISBN : 978-4-938849-72-6、2019.4
- 6) 東賢一. 最新の抗菌・防臭・空気質制御技術: 第 5 章第 2 節その他の規格・基準、第 5 項 WHO、

諸外国の空気質ガイドライン. テクノシステム, 東京, 2019.

7) 東 賢一. 健康リスクの立場からみた環境過敏症の予防について. 室内環境; 22(2), pp.203-208, 2019

8) 東 賢一. 今後の室内化学物質汚染. 空気清浄; 57(2), pp.15-20, 2019

9) 東 賢一. 室内化学物質汚染の現状と対策. クリーンテクノロジー; 30(2), pp.41-45, 2020.